

平成22年度 財団法人福岡市体育協会 事業報告

1 事業報告

平成22年度は、設立目的である「福岡市における生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図り、活力あるまちづくりに寄与する」という基本理念のもと、財団法人福岡市スポーツ振興事業団と統合し、充実強化した組織機能等により、市民スポーツの普及振興を推進するため、総務委員会、普及委員会、事業委員会、強化委員会、広報委員会、福岡市スポーツリーダー・バンク運営委員会、表彰委員会、福岡市スポーツ少年団、財務委員会において諸事業を運営・補佐し、企画事業、指定管理事業、受託事業、主催・共催事業を行った。

また、平成23年に本協会創立50周年を迎えるにあたって、今後10年の基本的な指針となる「21世紀ビジョン」（仮称）策定の検討や、記念事業の検討を行った。

(1) 委員会等

① 財務委員会

福岡市体育協会の発展と各種事業の充実に向け、賛助会員(法人、個人)の継続的な加入を促進し、地元有力企業等を対象に新規会員の開拓に努めた。

② 総務委員会

各委員会の情報収集をはじめ、連絡調整を図り、また、理事会付託の議案の調整を行うなど、年間5回の委員会を開催し、各委員会と連携して諸事業を推進した

③ 普及委員会

ア 市民によるスポーツへの関心と参加意識の高揚を図るため、市民スポーツの祭典として、「第24回市民総合スポーツ大会」を開催した。

〔総合開会式〕参加団体・人数：55団体、約13,000人

日 時：平成22年10月11日

場 所：平和台陸上競技場

〔開催内容〕 106種目 参加者総数：67,549人

夏季大会 18種目／10,039人 秋季大会 61種目／39,568人

冬季大会 26種目／17,212人 スポーツ写真展／730人

イ スポーツ人口の拡大のため、9種目の「スポーツ教室」を開催した。

〔開催内容〕 参加者総数：669人

バスケットボール(57人)、テニス(23人)、ハンドボール(53人)、カヌー(152人)

武術太極拳(27人)、バドミントン(122人)、弓道(12人)、スケート(102人)

ソフトボール(121人)

④ 事業委員会

生涯スポーツ及び競技スポーツの普及と振興を図るため、各種スポーツの初心者教室等を実施する施設に対し、各加盟団体との協働により指導者を派遣するなどの支援を行った。※九電記念体育館自主企画事業への支援

〔開催内容〕

バドミントン、バウンドテニス、バスケットボール、太極拳等の初心者教室への指導者の派遣など。なお、平成23年度からは普及委員会と統合し事業の充実を図る。

⑤ 強化委員会

ア 加盟 43 団体の組織強化及び競技力向上のため、各種大会、講習会及びスポーツ教室等の事業を実施した。

イ 「第 53 回福岡県民体育大会」における成績向上を目指すため、各競技において選手強化事業を実施した結果、女子総合 3 位・男子総合 4 位・混合優勝・男女総合 2 位の成績を収めた。

〔優勝した競技と種目〕

バレーボール(青年女子)、バスケットボール(青年男子)、ソフトテニス(一般、壮年)、バドミントン(一般女子 A、青年、壮年女子 A)、空手道(一般女子個人型・個人組手)、陸上競技(一般男子)

ウ 本市スポーツの国際的な交流を推進するため、釜山廣域市体育会と連携し、両市高校生のスポーツ交流大会等の事業を実施した。

〔福岡市・釜山廣域市高校生スポーツ交流大会〕

参加者数：212 人(釜山廣域市 112 人、福岡市 100 人)

競技種目：卓球、バドミントン、セーリング、ラグビーフットボール、ボウリング

会場：釜山廣域市

〔他の国際交流事業〕

バドミントン(釜山廣域市)、バレーボール(南体育館)、水泳(総合西市民プール)

エ ジュニア層(小・中・高校生)に対する指導者の資質向上を図るため、「コーチング・クリニック」を実施した。

対象：ジュニア層(小・中・高校生)の指導者及び保護者

⑥ 広報委員会

ア 本協会の活動内容等を掲載した広報誌「体協るじゃすと」第 1 号、第 2 号、第 3 号、第 4 号を発行し、加盟団体及び体育館等へ配付した。

イ ホームページにより、各種事業の案内及び加盟団体の紹介等の情報提供を行った。

⑦ 福岡市スポーツリーダー・バンク運営委員会

生涯スポーツの視点に立って、多様なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、スポーツリーダー・バンクの運営及び指導者の養成を図るための講習会を実施した。

ア スポーツリーダー派遣

スポーツ指導者の派遣要請において、登録指導者を派遣するとともに、各団体に対し派遣費の一部について援助を行った。

〔応募資格〕 1 グループにつき年 10 回、1 日 2 時間まで

〔派遣費用〕 5,000 円/回(うち 2,000 円を補助) + 交通費

〔登録指導者数〕 372 人

〔指導者派遣数〕 34 件(延べ 408 回)

イ スポーツリーダー研修会(指導者研修事業)

指導者の指導力向上とスポーツリーダー・バンクへの新規登録等を目的に加盟団体が実施する各種研修事業に対し援助を行った。

・実績 8 件

ウ 登録指導者へのフォローアップ研修会として「生涯スポーツ講座」を実施した。

〔開催内容〕 15 講座(平成 23 年 1 月～2 月)

⑧ 福岡市スポーツ少年団

ア スポーツ少年団の会員拡大に努め、76 団体、団員 1,287 名、指導者 205 名が登録した。

イ 5 種目(軟式野球, バレーボール, サッカー, アイスホッケー, 空手道)の交流大会をはじめ、宿泊交歓大会, アイススケート体験教室等を開催した。

ウ スポーツ少年団に所属していない子どもたちを対象に、年間を通して様々なスポーツ活動を体験させることを目的として、チャレンジ・ジュニア・スポーツクラブを開催した。

⑨ 表彰委員会

以下のとおり、表彰を行った

[表彰式]

・日 時 平成 23 年 3 月 12 日

・場 所 九州エネルギー館

ア 本市スポーツの普及と振興に寄与し、その功績が顕著な団体及び個人

・ 2 団体, 個人 11 名

イ スポーツ大会等において、良好な成績を収めた団体及び個人

・ 各種スポーツ大会 : 12 団体, 個人 40 名

・ 第 53 回福岡県民体育大会 : 9 団体, 個人 1 名

⑩ 「21 世紀ビジョン」(仮称) 策定特別委員会

当協会が公益財団法人へ移行すること等を踏まえ、基本的な指針となる「21 世紀ビジョン」(仮称) 及び同「推進計画」の策定について検討を行った。

⑪ 50 周年記念事業特別委員会

平成 23 年(2011 年)に福岡市体育協会の創立 50 周年を迎えるにあたり、記念式典及び祝賀会、記念大会、体育協会 50 年史発行等の記念事業について検討を行った。

(2) 企画事業

① スポーツ普及啓発事業

市民のスポーツへの関心や理解を深め、スポーツ活動への参加を促すとともに、様々なスポーツ情報を広く市民に提供した。

ア スポーツ情報の収集及び提供

福岡都市圏を含めた、各スポーツ施設の概要や各種スポーツ事業等についての情報等を収集し、広く市民に提供した。

・ 体育協会ホームページによる情報提供 <http://www.sports-fukuokacity.or.jp>
(アクセス 100,630 件)

イ 広報誌の発行

各加盟団体の活動や各施設で実施するスポーツ教室を紹介するとともに、各種スポーツイベント及びニュースポーツなど、様々なスポーツ情報を広く市民に提供するため、広報誌「体協るじゃすと」を発行した。

・ 回 数 年 4 回発行

・ 時 期 4 月, 7 月, 10 月, 1 月

・ 部 数 各 12,000 部

ウ ニュースポーツの普及事業

ニュースポーツの普及・振興を促すため、各体育館において用具の貸し出しを行った。

・ 種目 キンボール, グラウンドゴルフ, ペタンク, ファミリーバドミントン等

・ 貸出件数 500 回

エ こどもスポーツフェスタ

こどもたちに、スポーツの素晴らしさや身体を動かすことの楽しさを知ってもらうため、プロチームやスポーツ団体の選手・コーチに直接ふれあう機会を提供した。

- ・時 期 平成 22 年 6 月 13 日
- ・会 場 福岡大学第二記念会堂
- ・参加者数 144 人

オ 親子スポーツフェスタ

親子の絆を深めるため、様々な種目のスポーツを親子で体験できる機会を提供し、スポーツの楽しさを伝える。

- ・時 期 平成 22 年 9 月 23 日 雨天中止
- ・会 場 平和台陸上競技場

カ 地域スポーツサポート事業

地域と各種スポーツ団体の交流をサポートし、地域における生涯スポーツのきっかけづくりを行った。

- ・回 数 延べ 4 回
- ・参加者数 延べ 216 人

② スポーツ教室事業

ア 公共施設等利用スポーツ教室

公共施設等を利用し、各種スポーツ教室を実施した。

- ・かけっこ上達教室
- ・ジュニアサッカー教室
- ・秋のかけっこ上達教室
- ・あそびと運動のテーマパーク in 福岡市民体育館
- ・コーディネーショントレーニング

イ アウトドアスポーツ活動事業

市民のアウトドア活動へのニーズに対応した教室を実施した。

- ・ジュニアマリンキャンプ
- ・親子でスポーツと食育体験教室
- ・夏休み親子でゴルフ教室
- ・親子でわくわく！ハイキング教室

ウ スポーツ観戦教室事業

バスケットボール、ラグビーフットボール等のルール解説等も行う「見るスポーツ教室」を実施した。

- ・サッカー（なでしこリーグ）観戦教室
- ・プロ野球観戦教室
- ・バレーボール観戦教室
- ・ラグビーフットボール（トップリーグ）観戦教室
- ・バスケットボール（bjリーグ）観戦教室
- ・親子で「大相撲九州場所」満喫教室
- ・ボクシング観戦教室

※観戦教室受講者の年度別推移

エ 体力テスト

市民の体力の把握とスポーツ行事への参加を促進するため、小学校、校区体育振興会、公民館等へ握力計長座体前屈計などの測定用具の貸出しを行った。

- ・貸出件数 54 件

③ 人材育成事業

ア 女性スポーツ指導者育成事業

女性スポーツ指導者の養成・資質の向上を図り、女性スポーツ振興・発展・普及を目的とした研修等を実施した。

(ア) セミナー

平成 22 年度福岡市生涯スポーツ講座 「メンタルトレーニング」

実施日 平成 23 年 1 月 15 日

参加者数 51 名

(イ) スポーツフェスタ

実施日 平成 23 年 3 月 5 日

参加者数 96 名

イ スポーツボランティア育成事業

スポーツイベントやスポーツ教室でボランティアとして活動できる人材確保を目指し、ボランティアの登録や研修を実施した。

・登録者数 64 人

(3) 指定管理事業

① 指定管理施設

- ・福岡市民体育館
- ・福岡市立東体育館及び中央体育館
- ・福岡市立城南体育館及び早良体育館
- ・福岡市立西体育館及びももち体育館
- ・福岡市立東市民プール及び中央市民プール
- ・福岡市立総合西市民プール

※ 平成 21 年度から 6 施設（博多体育館，南体育館，博多市民プール，南市民プール，城南市民プール，早良市民プール）が指定管理外となった。

② 利用状況

施設名		利用人数	施設名		利用人数
体 育 館	福岡市民体育館	233,365人	市 民 プ ール	東市民プール	73,629人
	東体育館	114,538人		中央市民プール	59,052人
	中央体育館	165,002人		総合西市民プール	236,679人
	城南体育館	159,044人		計（3施設）	369,360人
	早良体育館	132,396人			
	西体育館	175,712人			
	ももち体育館	133,638人			
計（7施設）	1,113,695人				
			合計（10施設）	1,483,055人	

③ スポーツ教室事業

市民一人ひとりが、日常生活の中にスポーツを取り入れるきっかけづくりとして、各種スポーツ・レクリエーション教室等を実施した。

④ フォローアップ等教室事業

各体育館・プールにおいて、個人の体力に応じた運動を自主的、継続的に行えるような、フォローアップ教室，ワンポイントレッスン等を実施した。

⑤ 健康づくり運動促進事業

保健福祉センター（保健所）・健康づくりセンターとの共催事業として、健康づくり運動促進事業を実施した。

⑥ 体育の日事業（体育の日・こどもの日体育施設無料開放）

⑦ スポーツ施設利用事業

市営野球場，ソフトボール場，テニスコート，球技場（多目的グラウンド）等スポーツ施設と市立体育館等の公共施設案内・予約システム（コミネット）による案内，登録，抽選，利用申請等の各受付，スポーツ施設の施設管理人との連絡調整，利用料金に係る納付書発行事務等を行った。

ア 対象施設

- ・市営野球場等スポーツ施設 31 施設
- ・市立体育館 8 施設
- ・小・中学校校庭夜間開放施設 65 施設

イ 公共施設案内・予約システム登録者（団体）数

- ・個人登録 12,139 人
- ・グループ登録 15,980 団体

※ 登録者数は，上記対象施設分に文化施設分も含めた総数である。

(4) 受託事業

① 地域スポーツ振興事業

ア 学校体育館開放事業

市民に身近なスポーツ活動の場を提供するため，小学校体育館を開放し，市民のスポーツ・レクリエーション活動の普及振興を図った。

- ・開放校数 135 校
- ・登録団体数 919 団体
- ・利用件数 17,525 件
- ・利用者数 433,396 人

イ 学校校庭夜間開放事業

市民に身近なスポーツ活動の場を提供するため，夜間照明施設が整備された学校の校庭を夜間開放した。

- ・開放校数 66 校
- ・登録団体数 1,395 団体
- ・利用件数 7,732 件
- ・利用者数 186,339 人

ウ 学校プール開放事業

学校の夏季休業期間において，児童・生徒の健康・体力づくりと健全育成を図るため，当該校の児童・生徒に学校プールを開放した。

区分	開放校	開放日数	利用人数
小学校	143	2,179	127,910
中学校	23	306	6,281
特別支援学校	8	113	1,878
合計	174	2,598	136,069

エ 運動広場開放事業

高取市民運動広場（高取小学校第2グラウンド）を地域の少年団体の利用に供した。

- ・利用件数 361 件
- ・利用者数 12,012 人

オ 体育指導委員研修事業

地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の普及・振興を図るため，体育指導委員（292名）の技能等の向上を目的として，各種研修会の開催及び研修大会への派遣を行った。

カ プロ野球観戦招待事業

日頃スポーツ参加の機会が少ない障害者や福祉施設の入（通）所者をプロ野球観戦に招待し，スポーツに親しむ機会の提供を図った。

- ・招待試合数 66 試合
- ・招待施設数 134 施設
- ・招待者数 延べ1,175 人

キ 大相撲観戦招待事業

青少年の健全育成とスポーツへの関心や理解を深めるため、大相撲九州場所に市内の親子を招待した。

- ・招待者数 親子 88 組

(5) 主催・共催事業

① 第 24 回 市民総合スポーツ大会

市民によるスポーツへの関心を高め、参加意識の高揚を図るため、市民スポーツの祭典として、「第 24 回市民総合スポーツ大会」を開催した。

② シティマラソン福岡 2010

幅広い市民の参加はもちろん、全国から多くの参加者を募る福岡市のスポーツイベントとして全国にアピールする市民マラソンを開催した。

- ・期 日 平成 22 年 10 月 31 日
- ・コ ー ス ヤフードーム スタート・ゴール
- ・種 目 ハーフマラソン, 5 km, 5 km 車いす
- ・参加者数 7,527 人

③ その他のスポーツイベント

多様なスポーツイベントを開催することにより、市民の新たなスポーツへの参加機会を提供し、市民スポーツの振興を図った。

ア KYUSHU SUN-CUP10 (ビーチバレー大会)

- ・期 日 平成 22 年 8 月 7 日 (土) ・ 8 日 (日)
- ・会 場 シーサイドももち海浜公園 (百道地区)
- ・参加者数 1,190 人 (270 チーム)

イ 福岡トライアスロンフェスタ 2010

- ・期 日 平成 22 年 10 月 2 日 (土) ・ 3 日 (日)
- ・会 場 海の中道海浜公園
- ・参加者数 1,076 人

ウ ウィンタースポーツフェスタ 2010

- ・期 日 平成 22 年 12 月 4 日 (土)
- ・会 場 パピオアイスアリーナ
- ・参加者数 2,500 人

エ 2011 FUKUOKA i n d o o r 3 o n 3

- ・期 日 平成 23 年 3 月 19 日 (土)
- ・会 場 福岡市民体育館
- ・参加者数 317 人 (92 チーム)

(6) その他

バスケットボール・ナイトリーグ 2011

市民の競技スポーツの参加の機会を提供するとともに利用者の増加を図るため、閉館後の体育館を利用した、バスケットボールのリーグ戦を試行した。

- ・期 間 平成 23 年 1 月 24 日 (月) から 2 月 25 日 (金) までの 15 日間
- ・会 場 市民体育館 補助競技場
- ・参加者数 6 チーム (108 人)